

未来



全労協・郵政産業労働者
ユニオン長崎中郵支部
機関紙・「みらい」
NO. 4383
23年9月19日(火)
Tel・Fax 095-828-1953
文責 支部書記長

長崎県労連第36回 定期大会開催

おはようございます。

暑さが続く中、先週は不安定な天気が続きました。14日は長崎県で「線状降水帯」が発生し、早朝から落雷、大雨で冠水する道路もありました。JRが運転を見合わせた関係もあり、朝の長崎市内は大渋滞でした。また長崎県北部では翌15日も「線状降水帯」が発生しました。

18日は日曜日でしたが朝から落雷、大雨となり大雨・洪水警報も発令され、出勤者は一時局内待機となるなど、安全最優先での業務運行となりました。自然災害は一步間違えれば命取りです。避難、待機などは早めの行動が肝心です。

9月16日、長崎県労連第36回定期大会が開

催され、山田支部長が代議員として出席しました。会場は長崎市役所2階多目的スペースで、昨年に続きオンライン併用での開催となりました。

大会は千北副議長の司会から始まり、議長団には自治労連の峰代議員と建交労の内田代議員が選出されました。乾県労連議長挨拶、各委員会報告と続き、幹事会から鳥巢事務局が議案の提案を行いました。



議案については今年度の運動方針に関する第1号議案、昨年度の決算及び今年度の予算に関する第2号議案が提案されました。

その後は休憩を挟み質疑討論へと移り出席した多くの労組から取組み正社員への待遇を下げ格差を無くす手法と職場の現

状・問題点が報告されました。

ララコープ労組

春闘の取組みとして大人数で団交を開催できないかと考え、オンラインで開催することにした。結果40人を超える参加者で、非常に盛り上がる団交となった。賃上げの上積みはできなかったが夏季一時金の上積みに影響を与えたのではと考えている。

医労連

コロナが5類となり、過去のものとなつていくようだが、人手不足やベツド不足などで医療はひっ迫している。組織強化に関しては対話を軸に声を掛けていく。

建交労

石木ダム問題に関しては毎週月曜日に県庁前でスタンディングアピールを行っている。じん肺キヤラバンは、34年目に突入した。

アスベスト問題では解体が進んでいる旧NBCや解体予定の水道局では小さい看板しか設置していない。もっと市民に知らせるようなたかひが

必要だ。三菱を相手に下請け労働者が裁判をたたかっているが、地裁では一部不当判決が出た。高裁への支援をお願いしたい。

自治労連

諫早市が出資する一般財団法人でパワーハラスメント被害を訴え自治労連に加入した男性が「諫早市指定管理者組織のパワハラなどを訴えても全く相手にされなかったのが、5月にツイッターを始めたところ反応があった。その後自治労連に加入し、1月後に団体交渉を行う事ができた。一瞬で対応が変わったことに労働組合の力を感した。」と発言されました。



郵政ユニオン

①全国で和解が成立した郵政ユニオン集団訴訟の報告
②夏期冬期休暇削減に関して、基本給加算はあったものの、訴訟リスクに備え一般職の住居手当

廃止の時と同様に、会社からの「正社員の待遇を下げ格差を無くす」提案にJP労組は合意した。
③労働相談からの組織拡大の報告。
④ヤマト運輸との協業についての4点を報告しました。

その他にも、高教組、自交総連、年金者組合、幹事会からの発言など、



9名の代議員から発言がありました。

休憩を挟み、幹事会からまとめの答弁を行いました。議案の採決では1号議案、2号議案共に採択されました。その後役員選挙、スローガン、大会宣言採決と続き、最後は乾議長の団結ガンバロで大会は終了しました。

期間雇用パート労働者の皆さん！ 困りごとは職場の郵政ユニオンへご相談を。
1集-海江田, 2集-向井, 3集-山田, 支部・分会の役員へ。

郵政ユニオン長崎の
ホームページはこちら



仲間と競争せず、弱い立場の人と共に団結して闘おう。

期間雇用社員の希望を全員の正社員化を。

ゆげ、均等待遇、なげん差別。

ユニオンは労基法裁判に勝利する。